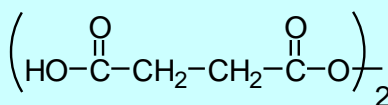


パーロイル<sup>®</sup>SA (PEROYL<sup>®</sup>SA)  
 ~ Disuccinic acid peroxide ~



分子式：C<sub>8</sub>H<sub>10</sub>O<sub>8</sub> ， 分子量：234.16 ， 理論活性酸素量：6.83%

**特徴** パーロイル<sup>®</sup>SAは、カルボン酸基を有するジアシルパーオキシドであり、重合開始剤として使用した場合、ポリマーの末端に酸基を導入できる特徴があります。アクリル系モノマー、酢酸ビニル、テトラフルオロエチレンなどの各種ビニルモノマーの重合開始剤として有用です。

<b>品質</b>	パーロイル <sup>®</sup> SA
希釈剤	水
純度	80%
外観	白色粉体

<b>保管温度</b>	保管温度	-5℃以下
-------------	------	-------

<b>包装形態</b>	包装形態	5kg (5kg×1)
-------------	------	-------------

<b>一般的性状</b>	嵩比重	0.58
--------------	-----	------

<b>半減期及び活性化エネルギー</b>	1分間半減期温度	1時間半減期温度	10時間半減期温度	活性化エネルギー	頻度因子
	131.8℃	87.0℃	65.9℃	110.7kJ/mol	7.79×10 <sup>15</sup> hr <sup>-1</sup>

(アセトン中における熱分解：過酸化濃度：0.10mol/L)

<b>安全性</b>	圧力容器試験 (消防式)	1mmオリフィス	10/10
		9mmオリフィス	0/10
	熱分析(DSC)	発熱開始温度	137℃
		発熱量	1010J/g
	引火点(セタ密閉式)	>110℃	
	発火点(ASTM E659)	未測定	
	SADT	未測定	

<b>適用法令</b>	消防法	第5類第2種自己反応性物質 (指定数量：100kg)
	労働安全衛生法	危険物 通知対象物を含有せず
	PRTR法	第1種並びに第2種指定化学物質を含有せず
	船舶安全法	酸化性物質類 有機過酸化物
	航空法	有機過酸化物

<b>その他の分類</b>	国連分類	クラス 5.2 , 国連番号 3102
	CAS-No.	123-23-9
	官報公示整理番号	(2)-856 (化審法, 安衛法)
	TSCA	登録有り
	EINECS	204-611-5

**記載内容の取扱い**

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成していますが、記載のデータや評価、危険性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

お問い合わせは、[peroxide@nof.co.jp](mailto:peroxide@nof.co.jp) までお願いします。